

堀田海山の誕生

2006年9月

JAMSTEC

海洋工学センター応用技術部

門馬大和

故堀田宏海洋理工学会元会長の、深海調査研究における功績を顕彰して、金華山東方沖約210海里（約390km）に存在する、基部の水深5300m、比高3100mの円錐形の海山に対して、大洋水深総図（GEBCO: General Bathymetric Chart of Oceans）委員会により、堀田海山の名称が国際的に認証されたので、お知らせいたします。なお、基準となる海底から、比高1000m以上の高まりを海山、それ未満を海丘と呼んでいます。命名の経緯や海山の位置は、以下の通りです。

本報告の作成に当たって、JAMSTEC地球内部変動研究センター藤岡換太郎特任研究員、海上保安庁海洋情報部小原泰彦主任研究官、および富山大学竹内章教授から、命名の経緯や手続き、海底地形図等、詳細な情報を提供していただきました。ここに、各位に深く感謝します。